

平成 22 年度重点活動項目

地域生活を支える作業療法の推進—5・5 計画 3 年目の取り組み—

作業療法 5 ヶ年戦略の中期を迎え、作業療法の対象者が速やかに地域生活へ移行できるよう、戦略の修正見直しを行い、医療・保健・介護・福祉各領域の切れ目のない作業療法実践の強化を図る必要がある。平成 22 年度は、1994 年発行の作業療法マニュアル「急性期の作業療法」の改訂発行、地域生活支援に特化した研究推進と成果の提示、都道府県作業療法士会が取り組んでいる実践への支援、養成教育における地域生活支援に向けたカリキュラム案の提示、などに重点を置いた活動を展開し、それらの成果を会員間の共有はもとより、対象者、関連団体、厚生労働省などに発信し、適宜、政策提言を行う。加えて、法人制度改革に対応する協会機能の点検、「2014 年 WFOT 世界大会」開催に向けた準備、訪問リハビリテーションステーション創設への動き、などを推進する 1 年間とする。

() 内関連 5・5 計画行動目標番号

1. 臨床的課題への取り組み

- 1) 地域生活移行を促進するため、一般病院ならびに精神科病院における急性期作業療法マニュアルを発行する(20・44)
- 2) 訪問リハビリテーションステーションの創設に向け、訪問作業療法に関する委託研究や集積した事例の分析により実績と成果を明らかにする(15・41)
- 3) 特別支援教育への作業療法士参画モデルを提示する(59・60・61)
- 4) 平成 22 年度診療報酬改定に関する情報発信と改定後調査を実施する(53・54)

2. 学術的基盤の強化への取り組み

- 1) 地域生活支援に特化した課題研究を推進し、作業療法の成果抽出を促進する(8)
- 2) 機関誌「作業療法」の電子化など発刊方法を検討するとともに、増刊のための体制を整備する(11)

3. 教育的課題（養成教育・生涯教育）への取り組み

- 1) 地域生活支援に積極的に参画する作業療法士養成に向けたカリキュラム案を提示する(80)
- 2) 専門作業療法士の分野を広げ、研修実施に向けての準備を整える(93・94)

4. 国際交流・国際貢献への取り組み

- 1) WFOT 世界大会の開催要項及び財政計画を策定し会員に明示する(97)
- 2) 国際学会での発表や座長の役割を果たすスキルを備えた会員を養成する(108)

5. 協会組織の機能再編への取り組み

- 1) 5・5 計画の中間見直しをし、後半の目標と実施計画を作成する(111)
- 2) 都道府県士会と協会役職者との会議・研修会などによる情報交換を促進する(123・124)

6. 作業療法の普及・啓発への取り組み

- 1) 作業療法の日などの啓発キャンペーンを実施し、作業療法の役割を一般市民にわかりやすく発信する(136・137・139)
- 2) 地域の要請に応じることのできる人材管理体制の構築を協会と都道府県作業療法士会が協力して検討する(143)